

米田 学人

ヨネダ マナト



今回は12月15日に行われた地域の方と学生が交流する「うえるかむナイト」の実行委員長でイベントサークル「Li☆Luck」(ライラック)の前代表、自然科学研究科電子情報システム工学専攻2年生の米田学人さんに岡大活性化にける思いをうかがいました。

岡大を好きという 気持ちを糧に

米田さんは現在大学院の2年生で、工学部の1年から3年までは学園祭の実行委員として活躍、4年生の時に友人と共にライラックを立ちあげ、活動を始めたそうです。

ライラックは、卒業生へのメッセージパネルを卒業式の日、東西通りに掲示する活動から始ま

りました。「卒業する先輩に感謝の気持ちを伝えたい」。その想いをきっかけに、幅広い

学部やサークルなどからメンバーが集まったのでした。卒業パネルの企画後、「岡山大学を盛り上げたい」「岡大生同士の交流を深めたい」という思いから、学内の多方面の出来事に関心が広がり、「岡山大学を好き」という気持ちを糧にライラックの本格的な活動が始まります。

大学に運動会が あってもいい

ライラックが行った活動の一つに、運動会があります。「岡山大学に運動会があってもいいのでは」と考えた米田さんらは、大学のグラウンドで運動会を開催。多数のサークルやグループが参加し、大いに盛り上がりました。この運動会の面白いところは、綱の端ではなく側面を持って引つ張り合う「横つなひき」や四角いコースでのリレーなど変わった種目があることや、盛り上がった競技時間は延長するといった自由度の高さです。

「この活動を通して、部活動を超えた学生同士の新たな交流の場を作れたことに意義がある」と、米田さんは語っていました。

地域の方々と学生との 交流を深めるために

ライラックは毎冬、イルミネーションイベントも主催しており、今年で三回目となります。今年のは、期間初日に「うえるかむデー」を行い、ステージ企画や、留学生の屋台などが多くの来場者で賑わいました。その中でも米田さんは「うえるかむナイト」という、今回初めてのイベントの担当をされたそうです。「うえるかむナイト」は学生の活動を地域の方々に知ってもらい、親交をより一層深めようという企画です。当日は、テーブルマジックやうらじやの演舞など、学生がパフォーマンスを交えながら自らの活動を紹介。岡大ブランドの酒「おのお岡大」の試飲会なども行われ、地域の方々と学生がともに楽しみ、相互理解を深めた一夜でした。

東京から 岡大を盛り上げたい

このように、ライラックは学内だけでなく地域とも連携した活動を行い、岡山大学をさらに盛り上げていくために活動しています。

就職のため、来春から東京に出ることになる米田さんに今後の展望をうかがうと、東京で開かれている本学のOB会を盛り上げていきたいとのことでした。大学を巣立っても母校をサポートしよう頑張ってくれている米田さんの今後の活躍が大いに期待できそうです。

